

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23021

学校名：栄南小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

分析

<p>体力・運動能力 <男子></p>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力,長座体前屈,反復横とび,20mシャトルラン,50m走,立ち幅とび,ソフトボール投げ</p>	<p>○前回の記録より下回った種目 上体越し</p>	<p>・体育の授業でめあてをもって活動する経験が多い子どもほど、「体育の授業が楽しい」と回答する傾向が高いことから、授業の中で目標を意識するような取組が効果的。</p>
<p>体力・運動能力 <女子></p>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力,長座体前屈,50m走,ソフトボール投げ</p>	<p>○前回の記録より下回った種目 上体越し,反復横とび,20m シャトルラン,立ち幅とび</p>	<p>・体育の授業の中で、「友達同士で助け合うこと」で『できる・分かる』経験が多い子どもほど、「運動が好き」と回答する傾向が高いことから、授業の中で子ども同士が関わる場面を意図的に増やす取組が効果的。</p>
<p>運動・スポーツへの意識、運動習慣</p>	<p>・「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R6 男子：95.5%、女子：98.0% R7 男子：96.0%、女子：85.0%</p>	<p>・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 R6 男子：6.1%、女子：12.5% R7 男子：4.8%、女子：13.5%</p>	<p>・授業を通して運動の楽しさを味わわせることに重点を置いたことによって、男子は授業以外で運動しない子どもは減少したが、女子は増加した。</p>

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

具体的な取組

- 子どもが運動の楽しさを味わえる「課題探究的な学習」の推進
- ・AARサイクルを意識した授業作り
- ・1人1台端末の効果的な活用
- ・全校縄跳び準備体操の取組
- ・出前授業の推進など、外部講師の活用
- ・授業と行事（栄南ピックや栄南ステージ）を関連付けて指導
- ・跳び箱運動やマット運動の重点週間を設定し、準備片付け時間の短縮により、活動時間を確保
- ・教職員研修の実施

- 三間（仲間、時間、空間）の創出により運動機会の充実を図る取組
- ・縄跳びカードを全学年で使用し、縄跳び運動を推奨
- ・縄跳びが自由にできるスペースの設置
- ・休み時間も跳び箱やマット運動ができる重点週間の設置
- ・児童委員会など子どもたちによる運動機会を創出する取組の立案・実現
- ・恵まれた学校隣接施設を利用し、緑地開放など休み時間の運動を確保。

- ・各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進
- ・養護教諭や栄養教諭による専門的な授業
- ・健康保持や体力向上への意識を高めるキャリアパスポートの活用

家庭・地域との連携・協働

- ・健康カードや2計測結果カードの持ち帰りを通じて、スポーツテストや2計測の結果を保護者に伝える。
- ・児童アンケートや保護者アンケートの結果から、取組の見直しを図る。
- ・学校運営協議会で学校の取組を説明し、委員からの意見を取組に反映させる。
- ・地域学校協働活動など、放課後に実施するスポーツレクリエーション活動において、地域のスポーツクラブのインストラクター等に指導を依頼する。